



2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 株式会社スノーピーク
 コード番号 7816 URL <http://www.snowpeak.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員人事管理本部長CHO
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 山井 太
 (氏名) 青柳 克紀
 TEL 03-6805-7738

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	2,826	22.5	5		21		45	
2018年12月期第1四半期	2,308	3.2	50		90		96	

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 39百万円 (%) 2018年12月期第1四半期 108百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	2.98	
2018年12月期第1四半期	6.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	12,756	6,216	48.6
2018年12月期	12,217	6,385	52.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 6,205百万円 2018年12月期 6,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		12.50	12.50
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00		12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	16.0	1,000	8.7	950	7.5	523	9.2	33.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	15,480,000 株	2018年12月期	15,480,000 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	31,452 株	2018年12月期	75,406 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	15,409,466 株	2018年12月期1Q	14,004,594 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年3月31日)における世界経済は、米国の経済成長の持続、欧州経済の緩やかな回復、アジア経済の底堅さなどにより、全体として堅調に推移しました。日本経済におきましても、雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。当社グループの属するアウトドア業界におきましても、引き続き堅調に推移しました。

当社グループは、2021年12月期をゴールとする3か年の中期経営計画を掲げ、「海外展開強化」「体験事業強化(コト売り)」を重点項目として活動し、2020年売上高160.0億円・営業利益18.0億円、2021年売上高185.0億円・営業利益28.0億円を目指しております。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,826,894千円(前年同期比22.5%増)となりました。国内既存事業につきましては、直営店の既存店(オープン年の翌年から1年を経過した店舗)がアパレル商品の販売拡大などにより前年同期比16.0%増と引き続き好調に推移しました。自社ECサイト売上につきましても、アパレルの売上が大きく伸長したことに加え、2018年3月にリリースしたスマホアプリのダウンロード数が当四半期末時点で10万ダウンロードに達したことも奏功し、前年同期比57.3%増となりました。インストアは大手スポーツ量販店の新業態として注目される大型店舗「アルペンアウトドアーズ」への新規出店や、ディーラー卸は昨年11月に全国223店舗を一斉オープンしたエントリーストアにより専有売場を確立した効果等により、インストアは前年同期比10.0%増、その他卸売につきましては前年同期比11.4%増となりました。またリアル店舗に加え、アマゾン等のEC卸も売上が伸長しており、ブランド認知の高まりにより各チャネルともに売上の拡大に貢献しました。

海外事業に関しましては、アジア地域は、韓国が全販売チャネルで売上を伸ばしたことに加え、日本に先駆けて発売したLINE社とのコラボ製品投入の効果もあり、前年同期比78.1%増と大きく成長し、アジア地域を牽引しました。米国につきましては、製品供給の遅れにより一時的な落ち込みはあったものの、2月、3月は上昇基調に戻し、当四半期では前年同期比3.2%減と微減に留まりました。卸を中心としたその他海外でも、展開エリアでの取引アカウントが順調に増え、売上を伸ばしました。

新規事業につきましては、事業別に見ますと、株式会社スノーピークビジネスソリューションズの手掛けるキャンピングオフィス事業におきましては、導入企業が増加し、受注件数も増えた結果、前年同期比54.7%増と売上を伸ばしました(前年同期比増加率に2019年1月に連結子会社化した株式会社ハーティシステムアンドコンサルティングの売上は含んでおりません)。アーバンアウトドア事業におきましては、提携工務店が2018年12月にも新たに1店舗増加し、同23.8%増と売上を伸ばしました。株式会社スノーピーク地方創生コンサルティングが手掛ける地方創生事業及びグランピング事業につきましては、同26.2%減と前年を下回ったものの、1月23日には長野県白馬村との包括連携協定締結、4月27日に開業した「スノーピーク土佐清水キャンプフィールド」(高知県)、6月開業予定の「スノーピークかわの駅おち」(高知県)など、体験価値を提供する新たな場づくりにより、中長期に向けグループ全体の成長に寄与する取り組みを推進しました。

利益につきましては、売上総利益は1,470,703千円(前年同期比22.1%増)、売上総利益率は52.0%(同0.2%減)と前年と同水準を維持しました。また、販売管理費を適切に管理し固定費を抑制できた結果、営業損失5,700千円(前年同期は50,519千円の営業損失)、経常損失21,775千円(同90,500千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失45,922千円(同96,417千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)と損失はいずれも計画を下回る水準で推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ538,755千円増加し、12,756,571千円となりました。流動資産は、商品及び製品の増加312,343千円、受取手形及び売掛金の増加287,544千円等があった一方で、現金および預金の減少591,135千円等により前連結会計年度末に比べ105,562千円増加し6,517,893千円となり、固定資産は株式会社ハーティシステムアンドコンサルティングの子会社化によるのれんの増加238,024千円等により前連結会計年度末に比べ433,193千円増加し、6,238,678千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ707,495千円増加し、6,540,101千円となりました。流動負債は、短期借入金の増加820,000千円、買掛金の増加232,239千円等があった一方で、未払い法人税等の

減少403,692千円等により前連結会計年度末に比べ662,282千円増加し4,711,238千円となり、固定負債は、長期借入金
金の増加28,318千円等により前連結会計年度末に比べ45,213千円増加し、1,828,863千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少
45,922千円、配当金の支払いによる利益剰余金の減少192,557千円等があった一方で、業績連動型株式報酬の給付に
よる自己株式の減少83,138千円により前連結会計年度末に比べ168,739千円減少し、6,216,470千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の通期業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が期初の計画通りの推移をしてい
ることから、2019年2月12日に公表いたしました通期業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,012,477	2,421,118
受取手形及び売掛金	2,046,954	2,334,499
商品及び製品	1,155,412	1,467,755
仕掛品	41,051	46,724
原材料及び貯蔵品	87,459	137,385
その他	81,695	124,161
貸倒引当金	△12,718	△13,751
流動資産合計	6,412,331	6,517,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,982,318	2,968,490
その他(純額)	1,156,013	1,316,176
有形固定資産合計	4,138,331	4,284,666
無形固定資産		
のれん	—	238,024
その他	588,617	545,757
無形固定資産合計	588,617	783,781
投資その他の資産		
その他	1,078,534	1,170,229
投資その他の資産合計	1,078,534	1,170,229
固定資産合計	5,805,484	6,238,678
資産合計	12,217,816	12,756,571

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	315,655	547,894
短期借入金	2,305,000	3,125,000
1年内返済予定の長期借入金	248,556	262,127
未払法人税等	417,168	30,630
役員賞与引当金	—	9,708
賞与引当金	—	73,205
役員株式給付引当金	38,635	9,941
従業員株式給付引当金	44,464	8,471
その他	679,476	644,259
流動負債合計	4,048,956	4,711,238
固定負債		
長期借入金	796,482	824,800
製品保証引当金	208,337	213,956
ポイント引当金	195,019	199,997
退職給付に係る負債	35,296	42,165
資産除去債務	132,660	136,267
長期末払金	380,613	377,613
その他	35,240	34,062
固定負債合計	1,783,650	1,828,863
負債合計	5,832,606	6,540,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,038	1,070,038
資本剰余金	3,423,511	3,423,506
利益剰余金	2,004,740	1,758,802
自己株式	△135,280	△52,142
株主資本合計	6,363,010	6,200,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	76
為替換算調整勘定	△1,427	5,108
その他の包括利益累計額合計	△1,427	5,184
新株予約権	6,087	6,087
非支配株主持分	17,539	4,992
純資産合計	6,385,209	6,216,470
負債純資産合計	12,217,816	12,756,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	2,308,093	2,826,894
売上原価	1,103,214	1,356,190
売上総利益	1,204,878	1,470,703
販売費及び一般管理費	1,255,397	1,476,404
営業損失(△)	△50,519	△5,700
営業外収益		
受取利息	61	234
補助金収入	—	1,431
その他	3,021	3,492
営業外収益合計	3,082	5,158
営業外費用		
支払利息	1,947	1,253
為替差損	30,634	10,735
持分法による投資損失	2,626	3,109
その他	7,855	6,133
営業外費用合計	43,063	21,233
経常損失(△)	△90,500	△21,775
特別損失		
固定資産除却損	2,700	22,386
特別損失合計	2,700	22,386
税金等調整前四半期純損失(△)	△93,200	△44,161
法人税、住民税及び事業税	41,487	21,721
法人税等調整額	△38,723	△19,956
法人税等合計	2,763	1,765
四半期純損失(△)	△95,964	△45,927
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	453	△5
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,417	△45,922

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△95,964	△45,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	76
為替換算調整勘定	△12,146	6,535
その他の包括利益合計	△12,146	6,612
四半期包括利益	△108,111	△39,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△108,564	△39,309
非支配株主に係る四半期包括利益	453	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アウトドアライフスタイル事業を単一の報告セグメントとしております。その他の事業については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。